Kapton型ポリイミドの多形と結晶弾性率

神戸大工 中前勝彦・西野 孝・。三木規彦 九州女子短期大家政 神田拓馬

1)近年、高分子材料はその高性能化に伴い、益々その用途を拡げている。代表的な耐熱性ポリマーであ るポリイミドは、航空宇宙分野の他に電子関連分野を中心に幅広く用いられており、これまでにさま ざまなテトラカルボン酸成分とジアミン成分の組み合わせからなるポリイミドがその目的に応じて開

発されている。その際、力学物性を把握すること は、用途範囲を見極める点から非常に重要になっ てくる。われわれはこれまでに数種のポリイミド について、その分子鎖軸方向の結晶弾性半(E)を測 定し、その分子鎖骨格構造と力学物性の関連性に ついて検討を行ってきた1.2)。その結果、棒状芳香

族ポリイミドでは同一試料中に複数の骨格が混在 Fig.1 Chemical structure of polyimide PMDA-ODA. することを報告してきた?)。本研究では代表的なポ

リイミドPMDA-ODA (図1)について,作成方法を異にする試料を取り上げ,X線回折法を用いてE.値を 測定し、骨格構造の面から検討を行った。

2)テトラカルボン酸成分にPyromellitic Dianhydride (PMDA)を用い, ジアミン成分にOxydianiline (ODA) を用いることにより前駆体であるポリアミド酸PMDA-ODAのN-Methyl Pyrrolidone溶液を得た。この溶 液を無水酢酸/ピリジン混合物により部分的にイミド化処理を施し、水/NMPからなる凝固浴を用い て湿式紡糸を行った。こうして得た繊維からイミド化剤を抽出した試料を繊維試料とした。またポリ アミド酸溶液から作製したキャストフィルムを、ジメチルアセトアミド/水=4:6の膨潤剤で膨潤させ、

1.5

延伸を行った。延伸ポリアミド酸フィルムに、2段階 で400℃までの熱処理を施したものをフィルム試料と した。このようにして得た各試料の子午線反射を用い て,従来と同様、定荷重法にてX線回折法を用いてE. の測定を行った。

3)図2にはポリイミドPMDA-ODA繊維試料の子午線反 射を用いて測定を行った。結晶格子の応力-ひずみ曲 線を示した。図中,直線の勾配よりE,の値として 55 21GPaが得られ, 32.64Åの繊維周期を示した。一方, フィルム試料はE.値として15GPaを与え、繊維周期も 32.4Åに短縮した。従って、ポリイミドPMDA-ODAは 作製条件に依存して異なる骨格構造を有する試料が得 られるものと考えられた。

1.0 8 0.5 $E_1 = 21 \text{GPa}$ 0 100 200 Stress (MPa)

Fig.2 Stress-strain curve for each

planes of polyimide PMDA-ODA

Fiber

1)中前勝彦,西野孝,三木規彦他,平成四年度繊維 学会秋季研究発表会予稿集, F-147 (1992).

2)中前勝彦, 西野 孝, 三木規彦他, 第42回高分子討 論会予稿集, 42, 4058 (1993).

fiber at r.t.**(**)(004), O:(008) Elastic Modulus of the Crystalline Regions and the Skeletal Conformation of Flexible-chain Polyimides with Different Microstructures.

K.Nakamae, T. Nishino, N. Miki (Faculty of Engineering, Kobe University, Rokko, Kobe 657), T. Jinda (Kyushu Woman's Junior college, Yahata-nishi, Kitakyushu 807)





ポリイミド最近の進歩 19963





Fig. Stress-strain curve of polyimide PMDA-ODA made by 2STEPs method. ●:(004), ():(008)

*El*値は格子面に依存せず (剛直型PIは格子面に依存)

試料の物性

	密度(g/cm ³)5	啤性卛(GPa)
Film(STEPWISE)	1.413	1.5
Film(2STEPs)	1.433	1.8
Fiber (290℃)	1.428	14.1
Fiber (400 $^{\circ}$ C)	1.430	14.3



試料作成方法は 骨格構造にどう影響するか?



Fig. Relationship between the fiber identity period and the elastic modulus E_l of polyimide PMDA-ODA.

Table. The list of reported values of the elastic modulus E_i and the specimen modulus Y_i and the fiber identity period.

	E _l (GPa)	Y _f (GPa)	Fiber identity period (Å)
Sidrovich			32.0
Conte			32.9
Slutsker	16.0	12.5	32.47
Ginsburg	19.6		
Kunugi		24.0	
Jinda		12.5	
In this study	9.1~21	1.5~14.3	32.18~32.64